

## 令和５年度 夏期特別展 基本計画書

| 種別   | 特別展                       | 名称   | 萩・古生物キングダム |   |
|------|---------------------------|--|------------|---|
| 会期   | 令和５年７月８日（土）<br>～９月１８日（月祝） |  | 実開催日数      | 73 日間                                     |
| 開催場所 | 萩博物館 企画展示室、人と自然の展示室       |  | 担当者名       | （主担当）川原康寛<br>（副担当）平岡 崇、松尾優平、<br>吉村星奈、堀 成夫 |
| 共催   | 萩市、萩市教育委員会ほか（調整中）         |  | 後援         | 山口県、山口県教育委員会ほか<br>（調整中）                   |
| 基本方針 | 経緯と課題                     | <p>例年、夏期特別展は、市内・県内外の多くの子ども達が生物の魅力を楽しみつつ、郷土の自然の現状や課題に気づくことのできる場を提供してきた。しかし、コロナ禍を機に大量集客が難しくなると共に、娯楽の多様化によって夏期特別展のプレゼンスが低下している。また、他の展示会（ひいては萩博物館全体）同様、市民や学校による利用が少ない状態が続いている。そこで、以下の課題を掲げて本展を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アフターコロナを見据えたターゲットの見直しと、それに応じた効果的な展示・広報の展開</li> <li>・学校教育における夏期特別展の利活用の促進</li> <li>・展示に関連した市民による生涯学習の機会の創出</li> </ul> |            |   |
|      | テーマ                       | 「深海魚」や「昆虫」に並ぶ人気コンテンツである「古生物」をテーマに、萩博物館ならではの展示とアフターコロナに対応した集客を実現すると共に、展示を軸とした学校・市民との連携をはかる。   |            |   |
|      | ねらい①                      | 展示テーマや博物館らしい質の高い学習機会を求める人々に確実に訴求する展示・広報を実現する   |            |   |
|      | ねらい②                      | 教材をつくることにより、展示の内容や関連情報を学校教育に活用する道筋をつくる   |            |   |
|      | ねらい③                      | 市民協働で関連イベントや展示制作等を実施することにより、新たな生涯学習機会を創出する   |            |   |
| 目 標  | 来場者数                      | 37,500 人   |            |   |
|      | ターゲット層                    | <p>【年代】 未就学児、小学生～中学生とその保護者</p> <p>【属性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古生物に関心のある人々</li> <li>・萩博物館の夏期特別展のコアな支持層</li> <li>・博物館らしい科学的・知的な情報を求める人々</li> <li>・萩市内の児童及び生徒</li> <li>・郷土に関心があり、生涯学習の機会を求める市民</li> </ul> <p>【エリア】 萩市、山口県内、島根県西部、広島県西部</p>   |            |   |

|          |  |   |
|----------|--|---|
|          | その他指標  | <ul style="list-style-type: none"><li>・アンケート回答率：総来場者数の 1%以上</li><li>・観覧満足度（アンケートで展示に満足と回答する人の割合）：80%以上</li><li>・萩市民の来館率（萩市から来館したと回答する人の割合）：20%以上</li></ul>  |
| 実施内容     | 概 要  | 「古生物」は例年の夏展アンケートで待望される人気テーマであり、自然科学の神秘や奥深さを知ってもらう上での格好の題材である。そこで、世界・山口・萩の古生物を、約 50 種 50 点の復元模型や実物化石を駆使して展示し、一見、萩市とは無縁のように思われがちな古生物を通して、郷土の大地や生物の変遷を学ぶ契機とする。   |
|          | ①主要展示資料  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ケラトサウルス復元模型※（株式会社中央宣伝企画）</li><li>・シノサウロプテリクス化石複製※（鳥取県立鳥取博物館）</li><li>・山口県沖産ナウマンゾウ牙化石※（鳥取県立鳥取博物館）</li><li>・アノマロカリス・サーロン復元模型※（北九州市立自然史・歴史博物館）</li><li>・モササウルス・ベーゲイ頭骨化石複製※（佐賀県立宇宙科学館）</li><li>・スサガメ化石（須佐歴史民俗資料館）</li></ul> <div>※ 県内初公開</div> |
|          | ②関連行事等   | <ul style="list-style-type: none"><li>・展示室の照明を消し、神秘的な自然の雰囲気の中で館内を巡ることができる「ナイトミュージアム」</li><li>・「化石の発掘体験」などの市民参加型体験ワークショップ</li><li>・古生物学的な特徴を有するサメなどを、萩市の江崎漁港で実際に触ったり、観察したりする「珍魚・怪魚ウォッチング」</li></ul>  |
|          | ③広報宣伝・情報発信の手法  | <ul style="list-style-type: none"><li>・チラシ 100,000 枚を市内の幼保小中高、山口県・島根県西部の幼保小の児童を中心に配布</li><li>・ポスター700 枚を市内各所を中心に配布</li></ul>  |
|          | ④外部との連携  | <ul style="list-style-type: none"><li>・市内学校やジオパーク推進課などと連携による、会期後も館内「探 Q はぎ博」で展開できる古生物学習プログラムの制作</li><li>・市民との連携による体験型ワークショップの実施</li></ul>   |
|          | ⑤その他   | <ul style="list-style-type: none"><li>・特別展のクオリティ向上を目指し、会期中の観覧料を特別料金化（常設展込みで現行 大人 520 円・高大生 320 円・小中生 100 円 → 大人 700 円・高大生 400 円・小中生 100 円）</li><li>・アフターコロナを見据え、事前予約制を撤廃</li></ul>  |
| 事業スケジュール | 3 月 24 日（金）：事業者への参加表明の案内<br>4 月 3 日（月）：事業者への現地説明会<br>4 月 26 日（水）：展示制作・関連企画業務プロポーザル審査会<br>5 月上旬：展示制作開始<br>5 月下旬：資料借用<br>6 月中旬：広報宣伝開始<br>7 月 8 日（土）：開幕 |   |